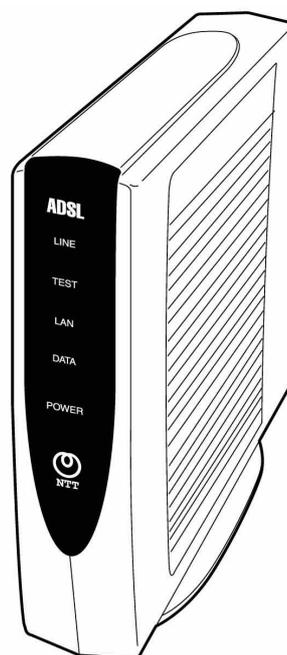


# **ADSLモデム-MN**

ファームウェアバージョンアップ手順書 (Windows®編)

ファームウェアバージョンアップを行う前に、本書をよくお読みのうえ、内容を理解してからバージョンアップを行ってください。



## はじめに

本書では、ADSL モデム-MN のファームウェアバージョンアップ手順について説明します。

### 【ファームウェアバージョンアップ手順】

ADSL モデム-MN ファームウェアのバージョンアップは次のような手順で行います。

バージョンアップツールのダウンロード	バージョンアップツールのファイル (ModemMN_86053.exe) をホームページからダウンロードします。
パソコンの TCP/IP 設定	ADSL モデム-MN に接続できるようにパソコンの設定を行います。
バージョンアップツールの実行	ダウンロードしたバージョンアップツールをパソコンで実行します。
バージョン確認	ADSL-モデム-MN にアクセスし、バージョンアップされたことを確認します。

### 【ファームウェアバージョンアップ時のご注意】

- 当社は、本ソフトウェア製品の仕様または使用不能から生じる一切の損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません)に関して一切の責任を負いません。たとえ、当社がこのような損害の可能性について知らされていても同様です。
- バージョンアップする時に、ADSL 回線の電話コードを外す必要はありません。
- バージョンアップ開始後、完了の表示が出るまで絶対に装置本体の電源を落とさないでください。途中で電源を落とすと装置本体のファームウェアが破損し、復旧不可能な状態となる場合があります。

・Windows® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

・Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

・Windows® 95 は、Microsoft® Windows® 95 operating system の略です。

・Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

・Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

・Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

## ADSL モデム-MN ファームウェアバージョンアップ手順 (Windows® 編)

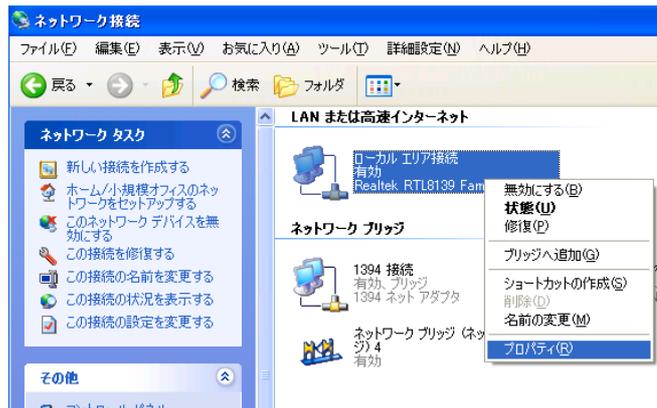
### (1) パソコンの TCP/IP 設定

#### Windows® XP の場合

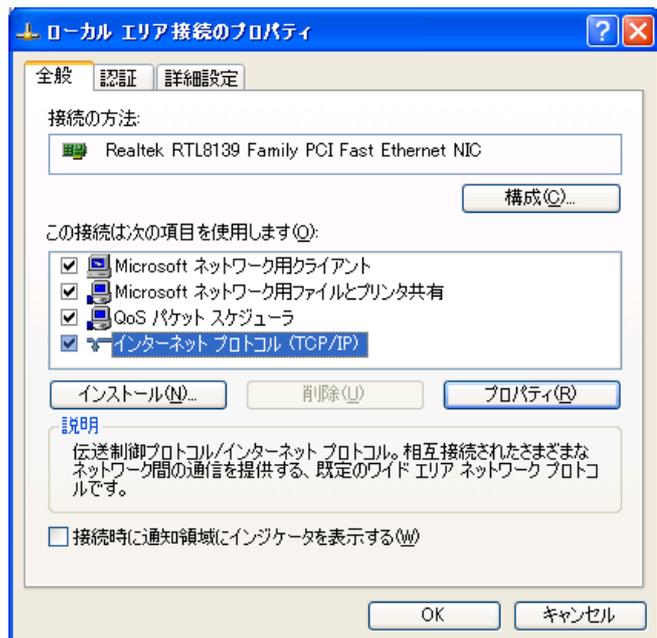
下記は、画面のプロパティ設定が初期状態(テーマ = Windows XP)の場合の例です。

「スタート」 [コントロールパネル] [ネットワークとインターネット接続] [ネットワーク接続]を選択します。

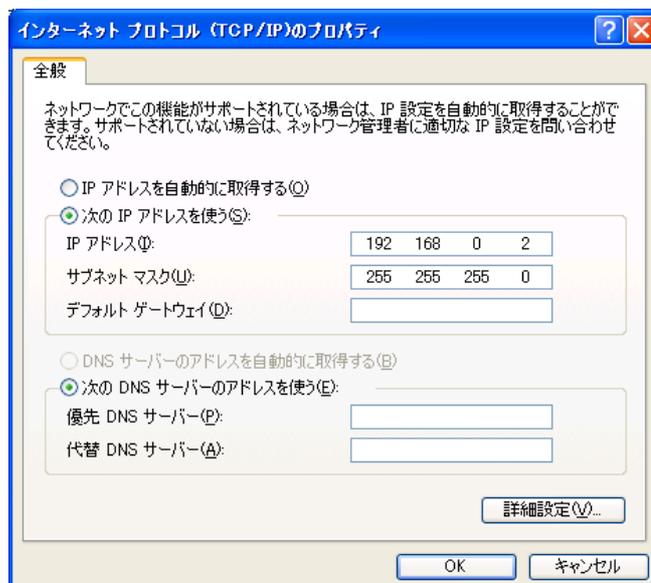
ローカルエリア接続を右クリックして[プロパティ]を選択します。



インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択し[プロパティ]ボタンをクリックします。



「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れ、  
IP アドレス :192.168.0.2  
サブネットマスク :255.255.255.0  
を入力し[OK]ボタンをクリックします。

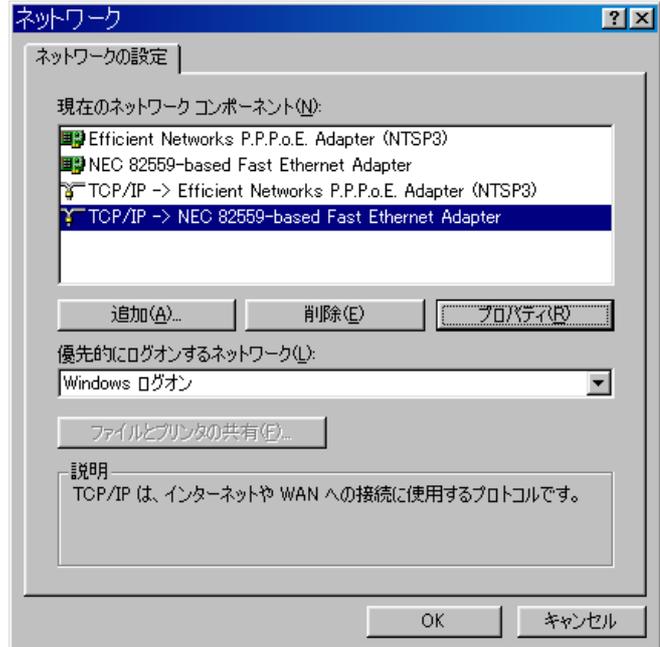


ローカルエリアの接続プロパティの[閉じる]ボタンをクリックします。

## Windows® Me/98/95 の場合

「スタート」 「設定」 [コントロールパネル] [ネットワーク]を選択します。[現在のネットワークコンポーネント(N)]の中から[TCP/IP (ネットワークアダプタ名)]を選択後、[プロパティ]ボタンをクリックします。

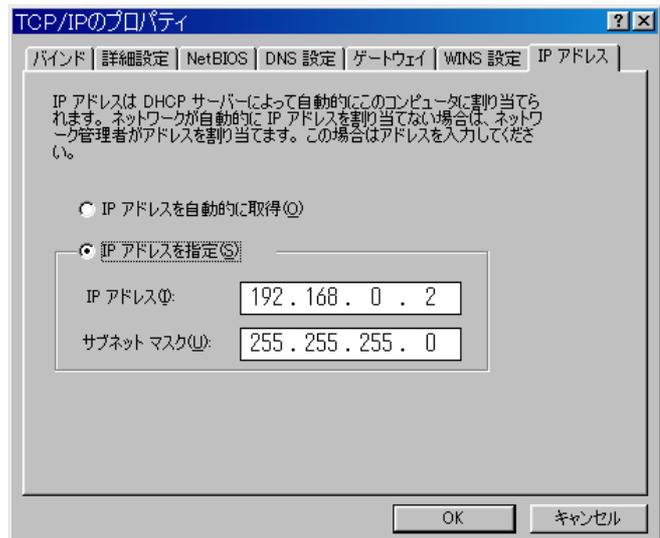
通常フレッツ接続ツールをインストールしていると、ネットワークコンポーネントの中に、[TCP/IP (PPPoE のドライバ名)]がありますが、これを選択しないように注意してください。



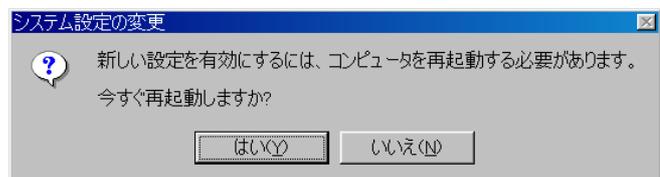
[IP アドレス]タブをクリックし、「IP アドレスを指定」にチェックを入れ、

IP アドレス : 192.168.0.2  
サブネットマスク : 255.255.255.0

を入力し[OK]ボタンをクリックします。[OK]ボタンをクリックします。



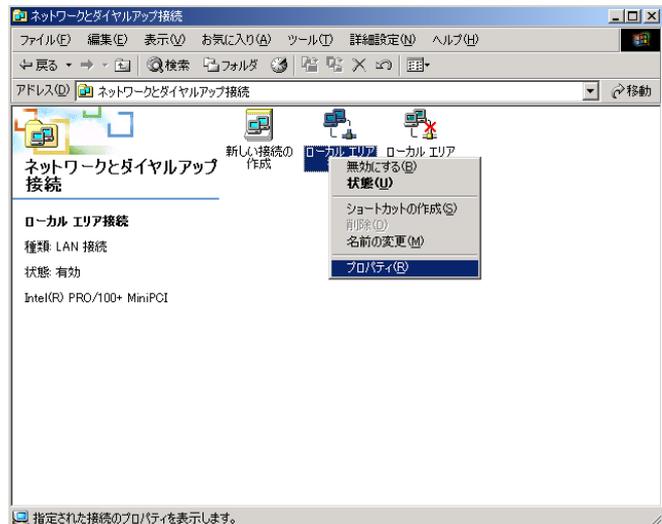
表示に従いパソコンを再起動します。



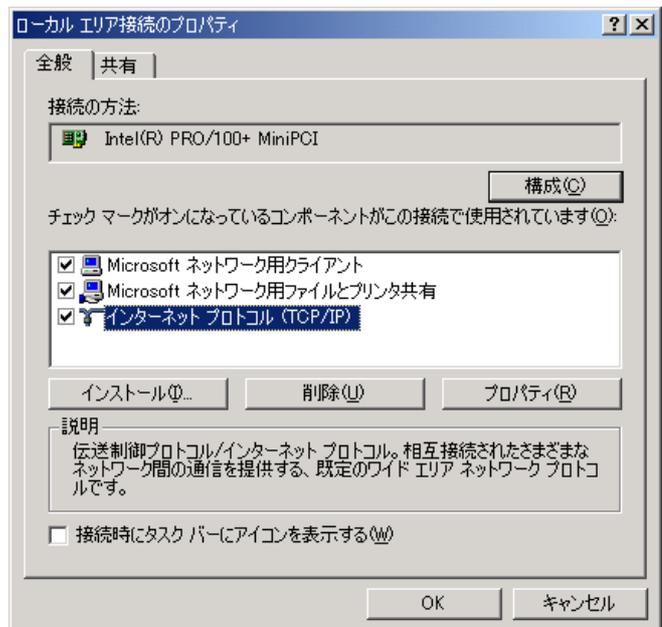
## Windows® 2000 の場合

「スタート」 「設定」 [コントロールパネル]  
[ネットワークとダイヤルアップアダプタ]を選択  
します。

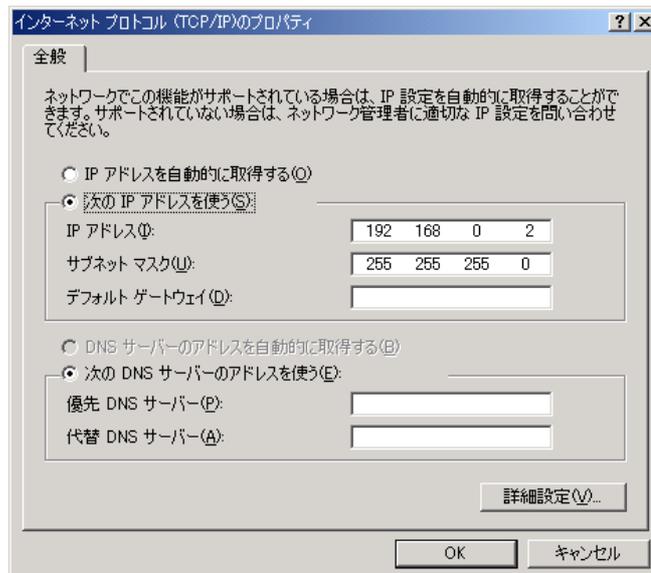
ローカルエリア接続を右クリックして[プロパティ]  
を選択します。



インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択し[プロパティ]ボタンをクリックします。



「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れ、  
IP アドレス :192.168.0.2  
サブネットマスク :255.255.255.0  
を入力し[OK]ボタンをクリックします。



ローカルエリアの接続プロパティの[OK]ボタン  
をクリックします。

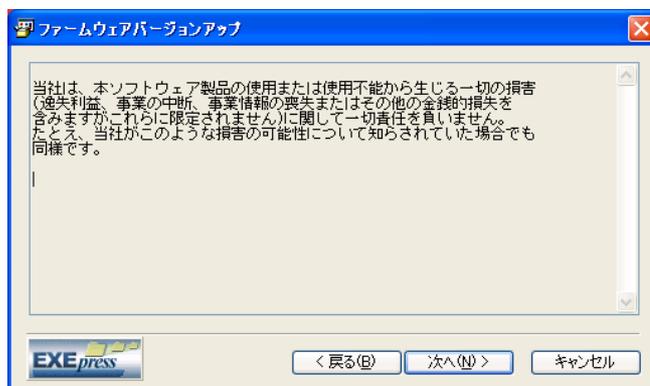
## (2) バージョンアップツールの実行

ここでは、Windows®XP を例に説明します (Windows®95/98/Me、Windows®2000 も手順は同じです)。

エクスプローラ等でバージョンアップツールのプログラムファイル (ModemMN\_86053.exe) を実行すると、インストーラが起動します。[次へ] ボタンをクリックします。



ソフトウェアに関する注意事項が表示されますので良く読んで、[次へ] ボタンをクリックします。

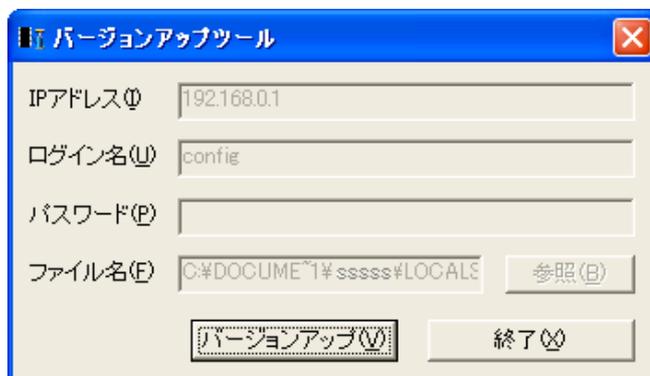


バージョンアップの準備が開始されます。

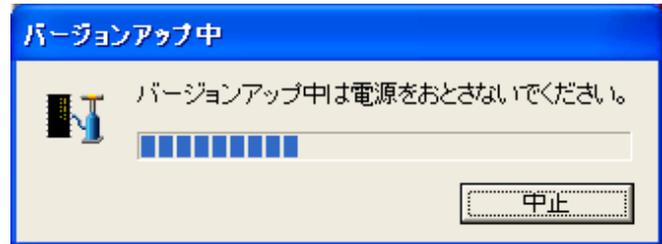


バージョンアップの準備が完了すると右のウィンドウに変わります。[バージョンアップ] ボタンをクリックするとバージョンアップを開始します。

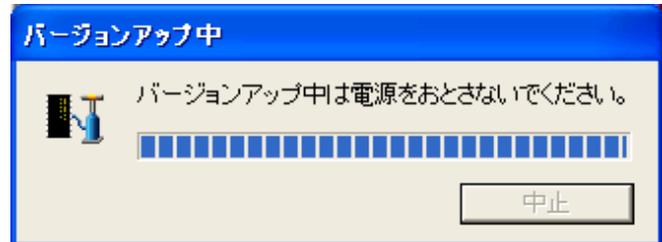
**[注意！]**  
バージョンアップ開始後、完了の表示が出るまで絶対に装置本体の電源を落とさないでください。



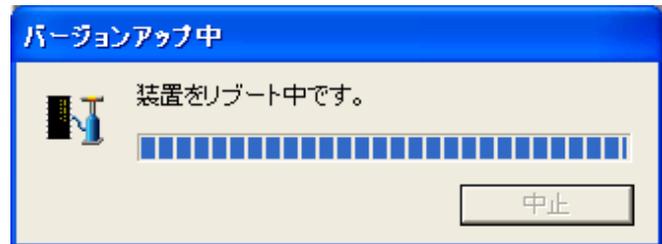
バージョンアップが開始されます。



ファームウェアの転送が終わると、ファームウェアの書き換えが行われ、プログレフが右いっぱいまできたままの状態が 30 秒～1 分程度続きます。



ファームウェアの書き換えが完了すると、自動的に装置をリポートします。装置リポートがかかると、装置本体の LINE ランプが一旦消灯します。LINE ランプが点滅開始すればリポート完了です。



装置リポートを行うと、正常終了ウィンドウが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



[終了]ボタンをクリックして、バージョンアップツールを終了します。



### (3) バージョン確認

ここでは、Windows®XP を例に説明します (Windows®95/98/Me、Windows®2000 も手順は同じです)。

Web ブラウザで URL(アドレス)を  
http://192.168.0.1/ と指定して、本装置にア  
クセスします。



ログイン名(ユーザ名)とパスワードを要求される  
ので、

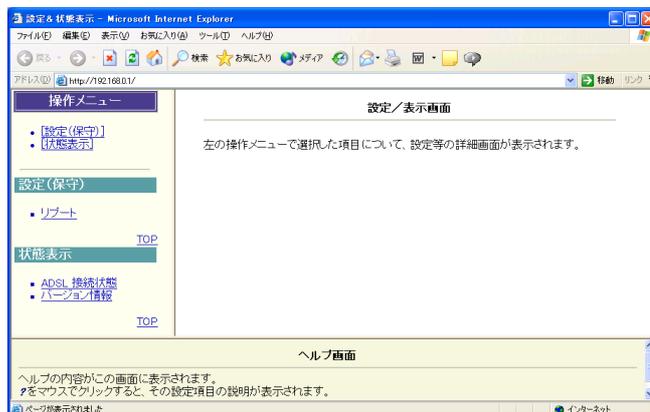
ログイン名(ユーザ名) : config

パスワード : (無し)

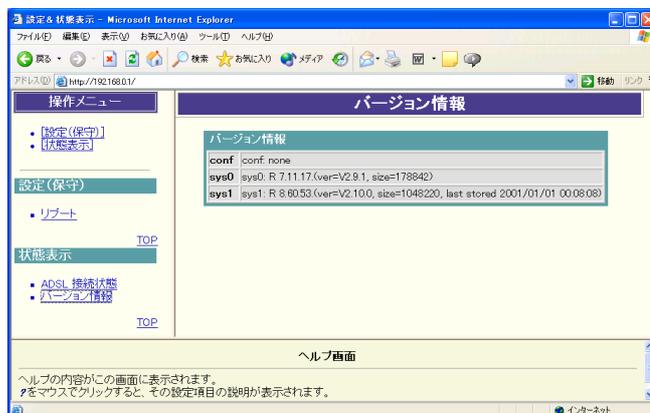
で[OK]ボタンをクリックします。



本装置の「設定 / 表示画面」が表示されます。



Web ブラウザで、操作メニューの「バージョン  
情報」をクリックします。「sys1」の欄が  
「**sys1:R 8.60.53**」  
となっているのを確認すれば、バージョンア  
ップ作業は完了です。



[注意]

sys1 バージョン情報の last stored の後に日付・  
時刻が表示されますが、この日付・時刻情報は  
現在時刻を表示しているものではありません。  
本装置は時計機能を有しておりますが、時刻設  
定は行えません。本装置起動時を 2001 年 1  
月 1 日 00:00 として、動作を開始し、バージョン  
アップ完了された日付・時刻が、last stored の  
後に記録されます。